

2. 都市の骨格構造（拠点と軸）の見直し

・都市計画マスタープラン等の上位・関連計画における拠点・軸の考え方を踏まえ、コンパクトなまちづくりを目指すうえで都市構造の骨格となる拠点・軸（ネットワーク）の形成方針（案）を検討

現行計画

拠点

【現行計画における拠点設定】

拠点	位置	位置づけ
中心拠点	中心市街地地区	歴史や伝統文化を語る地域資源と既存商店街を中心とした商業機能や居住機能の活性化により、にぎわいと落ち着きが共存する拠点として位置づける
	須頃地区	広域的な交通結節機能を活かした高次都市機能の集積を高め、市の発展を牽引する広域交流拠点として位置づける
連携生活拠点	上須頃地区	基幹病院の開設や高等教育機関の開校が決定されており、上越新幹線燕三条駅及び北陸自動車道三条燕 IC を中心とし、JR 弥彦線、国道 8 号等が結節し交通の利便性が高く、中心拠点である須頃地区、燕市の生活拠点のひとつである燕駅周辺地区には含まれた、上須頃地区を連携生活拠点として位置付ける

追加・変更する視点

都市計画マスタープラン（※現段階の改定案）

中心拠点	中心市街地地区（既成市街地） 三条庁舎周辺（中心業務拠点） 須頃地区（広域交流拠点） 上須頃地区（連携生活拠点）
地域拠点	市役所栄・下田庁舎周辺

都市計画マスタープランの改定内容と整合させ、

- 中心拠点を中心市街地地区、須頃地区（広域交流拠点）、上須頃地区（連携生活拠点）とする方針は変更なし（※拠点名称を変更）
- 地域拠点として位置づけられる栄地域、下田地域等の位置づけの明確化

【拠点地域の設定と形成方針（案）】

拠点	位置	形成方針
中心拠点	中心市街地地区	歴史や伝統文化を語る地域資源と既存の商店街を中心とした商業機能や居住機能の活性化により、にぎわいと落ち着きが共存する拠点として充実を図る
	須頃地区・上須頃地区	広域的な交通結節機能を活かした高次都市機能の集積を高め、本市の活性化を牽引する
地域拠点	栄地域（栄庁舎周辺）	地域の生活拠点として各種公共交通機能の集積や地域の利便性の向上に資する商業・業務機能の集積と居住機能の集積により地域コミュニティの維持を図る
	下田地域（下田庁舎周辺）	
広域連携地域拠点	八木ヶ鼻温泉周辺	国道 289 号八十里越の開通に伴い福島県とつながる玄関口として、各種公共機能や地域の利便性の向上に資する商業機能等の都市機能を維持

拠点・軸の形成方針（案）

軸（ネットワーク）

【現行計画における軸（ネットワーク）設定】

市街地と周辺地区とのネットワークの強化

- 現在の用途地域（中心市街地地区、須頃地区、上須頃地区）を拠点とし、市街地間やその周辺※との公共交通によるネットワークの維持

※周辺：右図で示す栄地域、下田地域等の地域拠点や近隣市町村

- 須頃地区・上須頃地区では教育機能や基幹病院の開設等の将来のまちの姿を見据えたバス路線等の確立を目指す

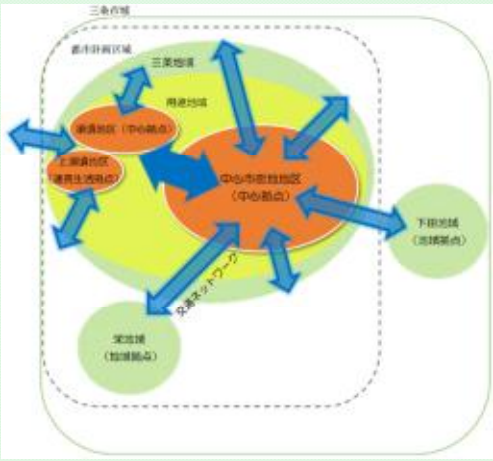



図 都市構造のイメージ（現行計画）

地域公共交通計画

- 市街地内の交通手段の充実・利便性向上
- 交通結節点の機能強化・利便性向上
- 市街地と周辺地域を結ぶ交通手段の充実、見直し、利便性向上
- 観光客を下田地域へ誘導する新たな公共交通の検討



地域公共交通計画の内容と整合させ、

- 市街地内や中心拠点間の交通手段の維持、利便性向上
- 市街地と周辺地域、特に下田地域を結ぶ交通手段の強化

【公共交通ネットワークの形成方針（案）】

- 現在の用途地域（中心市街地地区、須頃地区、上須頃地区）を拠点とし、市街地内や中心拠点間との公共交通によるネットワークの維持、利便性向上
- 市街地と周辺地域とのネットワーク、特に下田地域を結ぶ交通手段の強化
- 須頃地区・上須頃地区では教育機能や基幹病院の開設等の将来のまちの姿を見据えたバス路線等の確立を目指す

1

目指すべき都市の骨格構造

拠点と軸			考え方
拠点	中心拠点	中心市街地地区	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉・子育て・商業・行政等の日常的なサービス機能の集約を図り、これらの機能維持のために必要な人口密度を維持 ・豊富な地域資源を活かした市民の交流の場を創出し、都市の活力と生活利便性の維持向上を図る
		須頃地区・上須頃地区	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の広域交流を目指し、高次都市機能の維持・充実により、地元企業の発展や地域医療体制の充実を図る ・商業、文化、交流、研究開発、コンベンション機能等の集積を図り、県央圏域の表玄関として魅力ある都市空間を形成
	地域拠点	栄地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活拠点として各種公共機能や地域の利便性の向上に資する商業・業務機能等の都市機能を維持し、地域コミュニティを維持
		下田地域	
	広域連携地域拠点	八木ヶ鼻温泉周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 289 号八十里越の開通に伴い福島県とつながる玄関口として、各種公共機能や地域の利便性の向上に資する商業機能等の都市機能を維持
交通軸	広域交通軸		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、路線バスのうち中心拠点と近隣都市等、広域都市間を連絡する区間を広域交通軸として位置づけ
	拠点間交通軸		<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点と地域拠点間を連絡する路線バス等や、中心拠点内を循環する市内循環バス等を拠点間交通軸として位置づけ



図 目指すべき都市の骨格構造のイメージ